



平成 19 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 : 株式会社 山 武
代表者の役職氏名 : 代表取締役社長 小野木 聖二
(コード番号 6845 東証第 1 部)
問合せ先 : 管理部長 外山 史郎
(TEL : 03-6810-1009)

当社子会社(株式会社金門製作所)の平成 20 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社(株式会社山武)の子会社である株式会社金門製作所が、平成 19 年 5 月 9 日に公表した平成 20 年 3 月期の間(金門グループ連結・単独)業績予想及び通期(金門グループ連結・単独)業績予想の修正を行ないましたのでお知らせいたします。

今回の株式会社金門製作所による業績予想修正にともなう株式会社山武の山武グループ中間期連結業績への影響につきましては、営業利益、経常利益は軽微であります。当期純利益は事業用固定資産の減損処理等による特別損失の計上から、平成 19 年 10 月 4 日の公表値 3,700 百万円に対して 3,300 百万円(△400 百万円)を予想しております。

株式会社山武(山武グループ連結・単独)の通期業績予想につきましては、平成 19 年 11 月に予定しております中間決算発表時にお知らせします。

(注) 当業績予想につきましては現在入手可能な情報を基とする合理的な判断に基づくもので、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果になることがありますので、ご承知おきください

以 上

平成19年10月30日

各位

会社名 株式会社金門製作所
代表者名 代表取締役社長 岩井 昌秋
(コード番号 7724 東証第1部)
問合せ先 執行役員財務部長 星野 義和
(TEL. 03-3830-3743)

平成20年3月期業績予想(金門グループ連結・単独)の修正及び
特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月9日の決算発表時に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

また、下記のとおり特別損失が発生する見込みですので、併せてお知らせいたします。

1. 平成20年3月期中間期 業績予想の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

【金門グループ連結】

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	16,400	450	240	50
今回修正予想(B)	16,300	490	340	△520
増減額(B-A)	△100	40	100	△570
増減率	△0.6%	8.9%	41.7%	—
(ご参考)前中間期実績 (平成19年3月期中間期)	16,394	436	292	206

【金門製作所単独】

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	15,200	240	600	250
今回修正予想(B)	15,200	60	450	△590
増減額(B-A)	0	△180	△150	△840
増減率	0.0%	△75.0%	△25.0%	—
(ご参考)前中間期実績 (平成19年3月期中間期)	15,215	204	132	107

2. 平成 20 年 3 月期 業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

【金門グループ連結】

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	31,500	830	450	100
今回修正予想（B）	31,800	950	650	△430
増減額（B－A）	300	120	200	△530
増減率	1.0%	14.5%	44.4%	－
（ご参考） 前期実績（平成 19 年 3 月期）	32,233	825	556	367

【金門製作所単独】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	29,400	450	770	270
今回修正予想（B）	29,800	540	750	△460
増減額（B－A）	400	90	△20	△730
増減率	1.4%	20.0%	△2.6%	－
（ご参考） 前期実績（平成 19 年 3 月期）	29,985	604	407	363

3. 業績予想修正の理由

中間業績予想につきましては、金門グループ連結は、後述する特別損失を計上することにより、中間純利益が当初予想を下回る見込みであります。一方、減損処理に伴う減価償却費、リース料の減少等から、営業利益、経常利益は当初予想を上回る見込みであります。

金門製作所単独につきましては、連結同様、減損処理に伴う減価償却費、リース料の減少等の影響はあるものの、生産子会社との仕切価格変更および連結と同様の理由による特別損失の計上により、営業利益、経常利益、中間純利益とも当初予想を下回る見込みであります。

通期業績予想（連結・単独）につきましては、売上高が当初予想を上回るものの、各利益につきましては、中間期の業績修正理由を踏まえ、上記のとおり当初予想を修正いたします。

4. 特別損失の発生について

(1) 金門グループ連結

当中間期において、LP ガスマーターの遮断弁点検・交換費 140 百万円（平成 19 年 6 月 22 日開示の「LP ガス用 S 型マイコンメーターの遮断弁動作点検と対策について」関連）、製品保証等引当金 140 百万円、事業用固定資産の減損処理 420 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

(2) 金門製作所単独

当中間期において、LP ガスマーターの遮断弁点検・交換費 140 百万円、製品保証等引当金 140 百万円、事業用固定資産の減損処理 465 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

* 上記の予想は、本資料の発表時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上